

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.1】

診療科名: 内科

診療科コード: 010

(全患者数:862件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 手術なし 手術処置2 なし	111	18.43	14.34	2.70%	75.21	
2	2	100070xxxxxxxxx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	52	15.85	15.35	0.00%	68.31	
4	3	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術処置1 なし 手術処置2 なし 定義副傷病 なし	33	17.18	18.30	9.09%	79.82	

一番多かったのは、主として肺炎等の治療をおこなった15歳以上の患者さんで、手術をせず「手術・処置2」もおこなわなかった分類です。ただし、この「肺炎」にはインフルエンザ・ウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎及び間質性肺炎は含まれていません。在院日数は全国平均と比較して若干長くなっています。

二番目に多かったのは、主として2型糖尿病の治療をおこなった患者さんの分類です。血糖コントロールの自己管理の指導や合併症の検査などをおこなっていました。平均在院日数は、全国平均とほぼ同等です。また、平均年齢はやや低めです。

三番目に多かったのは、主として心不全の治療をおこなった患者さんで、手術や心臓カテーテル検査などはおこなわず副傷病もない分類です。平均在院日数は全国平均よりもやや短くなっています。また、平均年齢も高く、後期高齢者が多い傾向でした。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.2】

診療科名: 小児科

診療科コード: 100

(全患者数:108件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳未満) 手術処置2 なし	41	5.59	5.72	2.44%	1.63	
2	2	150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術処置2 なし	15	4.00	5.50	0.00%	4.40	
3	3	040100xxxxx00x	喘息 手術処置2 なし 定義副傷病 なし	11	5.73	6.31	0.00%	3.09	

一番多かったのは、主として肺炎等の治療をおこなっていた15歳未満の患者さんです。ただし、この「肺炎」にはインフルエンザ・ウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎及び間質性肺炎は含まれていません。平均在院日数は全国平均とほぼ同等です。また、特に2歳未満の入院が多い傾向でした。  
 二番目に多かったのは、主としてウイルス性腸炎の治療をおこなっていた患者さんです。平均在院日数は全国平均より短くなっています。また、乳幼児の入院が多い傾向でした。  
 三番目に多かったのは、主として喘息の治療をおこなっていた患者さんです。平均在院日数は全国平均よりも短くなっています。また、乳幼児の入院が多い傾向でした。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.3】

診療科名: 外科

診療科コード: 110

(全患者数:346件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術 処置1 なし 手術処置2 なし	29	12.07	7.84	0.00%	63.69	
2	2	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術処置1 なし 手術処置2 なし 定義副傷病 なし	25	8.64	9.17	4.00%	71.24	
3	3	060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切 除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術処置1 なし 手術処置2 なし	20	30.55	17.41	5.00%	78.25	

一番多かったのは、主に胆嚢炎の治療をおこなった患者さんで、腹腔鏡下胆嚢摘出術をおこなったが、「手術・処置1」と「手術・処置2」がなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較すると長くなっています。

二番目に多かったのは、主に腸閉塞の治療をおこなった患者さんで、手術や「手術・処置1」もなく、副傷病もなかった分類です。在院日数は全国平均と比較して若干短くなっています。

三番めに多かったのは、主に結腸の悪性腫瘍の治療をおこなった患者で、結腸切除術3または腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術をおこなったが、「手術・処置1」と「手術・処置2」はおこなわなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して、長くなる傾向にあります。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.4】

診療科名: 整形外科

診療科コード: 120

(全患者数:285件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし 定義副傷病 なし	55	48.51	21.52	5.45%	79.18	
2	2	160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	36	65.08	28.70	8.33%	79.89	
3	3	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術処置2 なし	11	67.09	21.26	0.00%	84.00	

一番多かったのが、主に胸椎、腰椎以下の骨折損傷の治療をした患者さんで、手術せずに副傷病もなく、保存的療法をおこなっていた分類です。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く後期高齢者が多い傾向にあります。

二番目に多かったのが、主に股関節大腿骨近位骨折の治療をおこなった患者さんで、人工骨頭挿入術(股)または骨折観血的手術(大腿)の手術をおこなった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く後期高齢者が多い傾向にあります。

三番目に多かったのが、主として骨盤損傷の治療で、手術や「手術・処置2」をせずに保存的加療をおこなっていた患者さんです。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く特に後期高齢者が多い傾向にあります。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.5】

診療科名: 脳神経外科

診療科コード: 150

(全患者数:246件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	010060x099030x	脳梗塞(JCS10未満)手術なし手術処置1なし手術処置2 3あり定義副傷病なし	58	36.48	18.08	13.79%	75.57	
2	2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷手術なし手術処置2なし定義副傷病なし	24	15.63	7.52	8.33%	64.42	
3	3	010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満)手術なし手術処置2なし定義副傷病なし	18	21.61	19.32	16.67%	71.39	

副傷病がなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して長くなっています。また、平均年齢も高めです。  
 二番目に多かったのが、主に頭蓋・頭蓋内損傷の治療をおこなった患者さんで、手術及び「手術・処置2」の治療をおこなわず、副傷病もなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して長くなっています。  
 三番目に多かったのが、主に非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外・JCS10未満)の治療をおこなった患者さんで、、手術及び「手術・処置2」の治療をおこなわず、副傷病もなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して若干長くなっています。  
 特に脳神経外科の患者さんは転院率が高い傾向にあります。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.6】

診療科名: 耳鼻咽喉科

診療科コード: 240

(全患者数:149件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	34	7.44	5.31	0.00%	63.91	
2	2	030428xxxxxxxx	突発性難聴	17	12.00	9.60	0.00%	54.59	
3	3	030430xx97xxxx	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞 手術あり	16	3.00	3.28	0.00%	3.13	

一番多かったのは、主に前庭機能障害(メニエール病、末梢性めまい症など)の治療をおこなった患者さんで、手術をせずに保存的治療をおこなっていた分類です。平均在院日数は全国平均と比較して若干長くなっています。  
 二番目に多かったのは、主に突発性難聴の治療をおこなった患者さんで、平均在院日数は全国平均と比較してやや長くなっています。  
 三番目に多かったのが、主に滲出性中耳炎の治療をおこなった患者さんで、鼓膜チューブ挿入術などをおこなった分類です。平均在院日数は全国平均と同等です。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.7】

診療科名: 皮膚科

診療科コード: 300

(全患者数:60件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	080020xxxxxxxx	带状疱疹	19	8.79	8.97	0.00%	71.05	
2	2	080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし	—	—	11.97	—	—	
3	3	080100xxxxxxxx	薬疹、中毒疹	—	—	11.65	—	—	

一番多かったのは、主に带状疱疹の治療をおこなった患者さんの分類で、平均在院日数は全国平均と同等です。  
二番目以降の分類は、標本数が10以下であり、偏差の影響が大きいため、患者数及び自院平均値は表示していません。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

加賀市民病院

【No.8】

診療科名: 泌尿器科

診療科コード: 310

(全患者数:292件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症 手術なし	32	14.03	12.60	0.00%	72.13	
2	2	11012xxx040x0x	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき)手術処置1なし 定義副傷病なし	26	2.12	2.89	0.00%	57.96	
3	3	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術	23	19.00	10.25	0.00%	71.83	

一番多かったのは、主に腎臓または尿路の感染症の治療をおこなった患者さんで、手術をおこなわなかった分類です。平均在院日数は全国平均と比較して若干長くなっています。  
 二番目に多かったのは、主に上部尿路疾患(尿管結石症・腎結石症)の治療をおこなった患者さんで、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(ESWL)をおこない、「手術・処置1」はおこなわず、副傷病もない分類です。平均在院日数は全国平均と同等です。  
 三番目に多かったのは、主に前立腺肥大症の治療をおこなった患者さんで、経尿道的前立腺手術をおこなった分類です。平均在院日数は全国平均と比較してやや長くなっています。